

東京TVフォーラム(TTVF)について

(開催:2011年12月12日-14日)

平成24年2月

ATP

○どのような経緯で、どのような目的を持って企画したのか

動機は東日本大震災

テーマ

「放送コンテンツの海外発信力を強化するために、いま何が求められているのか」

国際共同製作

○フォーラムの具体的な内容と特徴

シンポジウムとピッチング・セッション(公開企画提案会議)、ワークショップの3部構成

・シンポジウム

第1部 海外における「規制と支援」の現状

第2部 国際共同製作の取り組み

第3部 日本はどうあるべきか

・ピッチング・セッション

その歴史と仕組み

コミショニング・エディター19名が参加

(イギリスBBC、ドイツNDR、フランスARTE、スウェーデンSVT、アメリカPBS、台湾PTS、中国CCTV、韓国KBS、その他オーストラリアやシンガポール、フランス、中国、韓国など配給会社)

ピッチングは21企画

○開催の成果

「波の向こう (Beyond the Wave)」 →NHK BBC ARD

「ニュークリア・ネイション～原発の町、避難生活の1年～」

→ベルリン国際映画祭招待 フランス配給会社

「出汁(だし):日本料理のうまみを生み出す不思議世界を旅する」

→NHK フランス配給会社 (交渉中)

「泥棒の家路」 →民放 BBC SVT (交渉中)

他6企画が交渉中

人的ネットワーク

○今後の展望と課題

日本がグローバルなコンテンツ制作と流通の拠点になる
そのために

- フォーラムの継続的な開催
- 多様な支援
- 人材育成

放送局との課題

- 著作権や窓口業務など権利関係
- 制作委託の減少
- ドキュメンタリー枠の減少

「規制と支援」について
